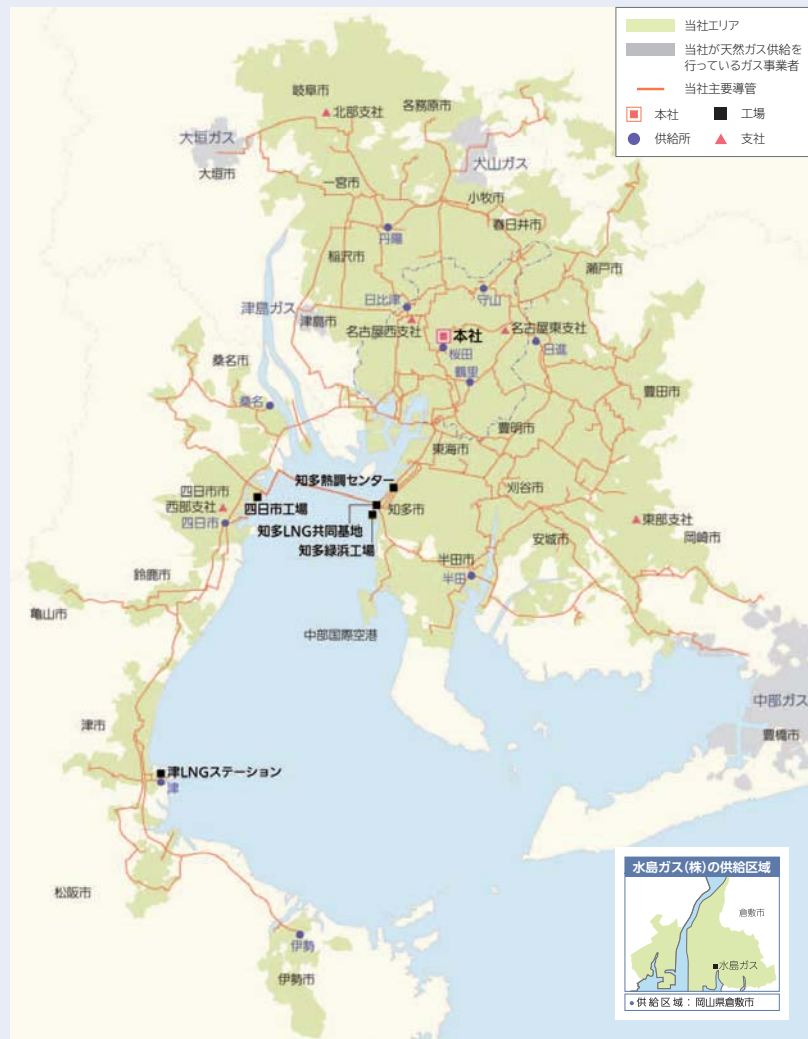
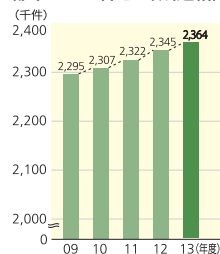


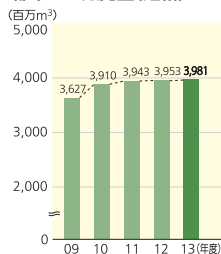
■ 主要導管網概要および天然ガス供給先 (2014年4月1日現在)



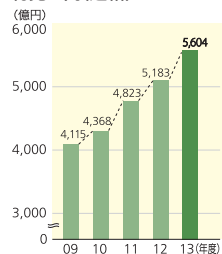
都市ガスお客さま数(連結)



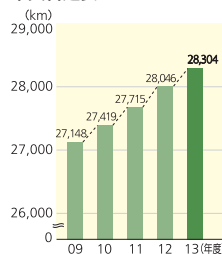
都市ガス販売量(連結)



総売上高(連結)



本支管延長



東邦ガスの概要

■ 会社概要

設立	1922年6月26日
本社所在地	名古屋市熱田区桜田町19番18号
代表者	取締役社長 安井 香一
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● ガス事業 ● 熱供給事業 ● 電気供給事業 ● ガス機器・設備の販売およびガス配管工事
資本金	330億7,200万円
都市ガス供給区域	愛知・岐阜・三重の3県で53市19町1村
従業員数	2,860人(連結5,813人)
協力会社	リバナス エネドウ、エネドウ (以下TENEDO) (ガス機器販売・サービス店) 112社 ガス工事会社 116社

(会社概要の数値データについては、2014年3月末現在)

■ 企業理念

東邦ガスは、グループ各社とともに、人々との信頼のきずなを大切に、うるおいと感動のあるくらしの創造と魅力にあふれ、いきいきとした社会の実現に寄与します。

【編集方針】

- 1995年に「環境レポート」を発刊して以来、毎年記載内容を充実させ、2006年版からは「環境・社会報告書」にタイトルを変更し、東邦ガスグループの環境・CSR 活動全般を報告しています。
- 「特集」「環境報告」「社会報告」「経営の透明性・健全性の確保」を中心とした構成となっています。
- ガイドラインとして、環境省「環境報告ガイドライン2012年版」、GRI「サステナビリティ・リポートガイドライン第3.1版(G3.1)」、「ISO26000」を参考にしています。



このマークの項目には、関係会社・協力会社の取り組み内容が含まれています。



このマークの項目は、ホームページで詳しい内容をご覧いただけます。



このマークは、本報告書上で詳細が記載されているページを表示しています。



このマークのグラフは、プライスウォーターハウスクーパース サステナビリティ(株)による「独立した第三者保証報告書」の対象となる記載情報です。

目次

- 01 会社概要
- 03 トップメッセージ

特集

- 05 東邦ガスグループ中期経営計画
～東邦ガスグループビジョンの実現に向けて～

環境報告

- 09 事業活動と環境負荷
- 11 天然ガスの特性
- 12 環境行動指針・ガイドライン・目標
- 14 地球温暖化防止に向けて
- 20 循環型社会に向けて
- 23 生物多様性保全
- 24 環境社会貢献
- 26 環境技術開発
- 28 環境マネジメント
- 31 グループ会社の環境活動
- 32 第三者保証

社会報告

- 33 安定供給と安全・安心の確保
- 33 都市ガスの安定供給のために
- 34 安全・安心の確保のために
- 36 お客さまの安全・安心のために
- 37 ステークホルダーの皆さまと
- 37 お客さまとともに
- 39 地域社会とともに
- 40 株主・投資家の皆さまとともに
- 40 取引先さまとともに
- 41 従業員とともに

経営の透明性・健全性の確保

- 43 コーポレート・ガバナンス
- 44 コンプライアンス

45 社外評価

- Web データ集
- Web 取り組みの歴史
- Web ガイドライン・対照表

天然ガスの普及拡大を通して、 環境調和型社会の実現に貢献します。

はじめに

当社は、1922年に名古屋ガスの事業を継承して以来90年以上にわたり地域に根差したエネルギー会社として、お客さまと地域社会に支えられ発展してまいりました。2013年度末には、グループ全体で236万件のお客さまに都市ガスを、また、44万件のお客さまにLPガスをご利用いただいております。

私どもが今日あるのは、ひとえに、お客さまや株主さま、お取引先さまをはじめとする、多くの方々のご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

天然ガスは、本年閣議決定されたエネルギー基本計画において、安全性、安定供給、経済効率性、および環境性の観点から、今後さらにその役割を拡大していく重要なエネルギー源と位置付けられました。

当社グループにおいても、このような動きを捉え、中期経営計画（2014～2018年度）を策定・公表し、この5か年を「強いガス事業を構築するとともに、さらなる成長に挑戦する期間」と位置付けました。そのため、5つのアクションプラン「低廉なエネルギーの安定供給」、「お客さまとの関係深化」、「ガス事業の広域展開」、「事業領域の拡大」、「安全・安心の確保」を掲げ、活動を展開してまいります。

この中期経営計画を着実に実行することにより、創立100周年に向けた「東邦ガスグループビジョン」の実現に道筋をつけ、環境調和型社会の実現に貢献してまいります。

環境調和型社会の実現を目指して

お客さま先での環境負荷低減に貢献するため、当社は天然ガスへの燃料転換をはじめ、燃料電池などの分散型エネルギーシステムや高効率機器の開発・普及を通じて、エネルギーの高効率・高度利用に努めてまいります。

燃料電池「エネファーム」などと太陽光発電を組み合わせたダブル発電システムの普及や、電気と熱を最適利用するスマートエネルギーハウスの実証を通じ、環境性と省エネ性に優れた快適な暮らしを提案してまいります。また、港明用地の再開発においては、地域全体のエネルギーマネジメントを駆使した「スマートタウン」構築にも取り組んでまいります。

さらに、工業炉やボイラなど熱需要の開発や、ガスコージェネレーションの提案を推進し、省エネ・電力負荷準化への対応、災害時の事業継続計画（BCP）にも貢献してまいります。こうした提案を着実に実行するため、エネルギー設備などの建設から運転・保守管理までをワンストップで提供する総合ユーティリティサービス事業や、水素ステーションの普及など、総合エネルギー事業を推進してまいります。

環境問題への対応では、ガスの製造・供給など当社グループの事業活動でのCO₂削減に徹底して取り組むとともに、ガス導管工事における環境負荷を抑制する施工方法を推進するなど、資源循環にも積極的に取り組んでまいります。

安定供給、安全・安心の確保

ガスの安定供給と安全・安心の確保は、ガス事業の原点であり、原料の安定調達、生産・供給基盤の整備、保安対策を一層着実に進めてまいります。

本年1月には、既存の調達先（インドネシア、オーストラリア、マレーシア、カタール、ロシア）に加え、新たに米国キャメロンプロジェクトからシェールガス由来のLNG（液化天然ガス）を、米国天然ガス市場価格に連動する価格指標で購入する売買契約を締結しました。今後も、原料調達先・価格指標の多様化による低廉で安定的な原料確保を図ってまいります。

あわせて、盤石なLNG受入体制の構築、広域供給体制の強化に向け、伊勢湾横断パイプラインの運用開始に加え、知多緑浜工場のNo.3 LNGタンクの建設を着実に進めるとともに、三重幹線の建設など、高圧導管ネットワークの整備・拡充を推進してまいります。

安全・安心の確保については、ガス導管の経年対策に加え、耐震性の強化や設備の移設など、地震対策や津波・液化化対策を継続することで、防災に対する取り組みを着実に進めてまいります。また、安全型ガス機器の普及促進や定期保安点検の機会を活用したお客さま先における安全周知の徹底など、保安活動に継続して取り組んでまいります。

皆さまから信頼され、支持され続けるために

当社グループは、今後もお客さまをはじめ、株主・投資家の皆さま、地域社会の皆さまなど、多くのステークホルダーから、常に信頼され、支持され続ける企業グループを目指してまいります。

そのためにも、従業員一人ひとりがお客さまや地域社会への感謝の気持ちと、事業を通じて地域社会に貢献するという社会的使命感を常に持ち続けるとともに、コンプライアンスのさらなる徹底と経営の透明性・健全性の確保のため、高い倫理観に基づいて行動し続けてまいります。

本報告書が皆さまとの貴重な有用なコミュニケーションのツールとなり、より多くの皆さまから当社の取り組みに対する一層のご理解をいただくとともに、忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせ願えれば幸いです。



東邦ガス株式会社 取締役社長

安井香一



特集 | 東邦ガスグループ中期経営計画 (2014~2018年度)

当社は、2013年3月に「東邦ガスグループビジョン」を策定し、創立100周年(2022年)に向けた東邦ガスグループの目指す姿を示しました。エネルギー事業が大きな転換期を迎える中において、ビジョンを実現し、持続的に成長していくために、2014~2018年度の5か年を計画期間とする新たな中期経営計画を策定しました。

特集では、この計画の概要および具体的な取り組みについて紹介します。

コンセプト

アクションプラン

成長を支える
経営基盤の強化

コンセプト

強いガス事業の構築

厳しい競争環境においても、お客さまから信頼され必要とされ続ける強いガス事業を構築する

さらなる成長への挑戦

経営環境の変化によって拡大するビジネスチャンスを捉え、さらなる成長に向けた基盤を築く

アクションプラン

ACTION 1 低廉なエネルギーの安定供給

原料調達の多様化によるポートフォリオの最適化と安定供給基盤の整備を進め、低廉なエネルギーを安定してお届けします。

(1) 原料調達の多様化

- 調達地域、契約形態、価格指標を多様化します。
- 価格交渉力を強化します。

(2) 安定供給基盤の整備

- LNG(液化天然ガス)基地運用の柔軟性を向上させます。



安定供給基盤の整備

ACTION 2 お客さまとの関係深化

一人ひとりのご要望にお応えするエネルギー利用の実現とサービスの提供を通じて、お客さまとのつながりを一層強化します。

■家庭用分野

(1) 快適なくらしと良質なサービスの提供

- 最適なエネルギー利用の核となる、創エネ・高効率機器を普及拡大します。
- 住まいのソリューション提案力を強化し、お客さまの快適なくらしを実現します。
- 各種の接点機会における業務品質を向上させるとともに、プラスαのサービスを提供します。
- ENEDOをはじめとする東邦ガスグループのサービスネットワークを強化します。

(2) スマート化の推進

- スマートメーターや通信手段の開発・コストダウンを進め、住まいのスマート化に対応します。

■業務用分野

(3) 最適なエネルギー利用の提案

- 総合ユーティリティサービス事業を展開し、それぞれのお客さまにとって最適なエネルギーの利用方法を提案することで、1億m³/年の新規需要を開発します。
- 省エネ診断やエネルギー管理支援などの実施により、既存のお客さまとの関係を強化します。

(4) 分散型エネルギーシステムの普及拡大

- 機器の高効率化やコストダウンを進めるとともに、事業継続計画(BCP)や節電、CO₂削減などの付加価値提案を強化します。
- 再開発計画が具体化している名駅地区を中心に、エネルギーの面的利用を拡大します。

	2013年度末	中計目標(2018年度末)	ビジョン目標(2022年度末)
家庭用コージェネ販売台数(ストック)	2万台	3.5万台	5万台
分散型エネルギーシステム設置容量(ストック)	75万kW	80万kW	100万kW

ACTION 3

ガス事業の広域展開

お客さまのニーズに応じた最適な供給形態で、より広い地域にガス体エネルギーをお届けします。

(1) 都市ガスエリアの拡大

- LNG基地からの送出能力を向上させ、都市ガス供給エリア全域への輸送能力を高めます。
- 導管を増強・延伸して、潜在需要を積極的に開発します。

(2) LNG・LPG(液化石油ガス)による広域展開

- LNG**
 - 都市ガス供給エリア周辺の工業用お客さまを中心にLNGを販売します。
- LPG**
 - 東邦液化ガス・東邦ガス一体となった営業活動により、グループシェアを向上させます。
 - 広域地区での需要開発を推進します。
 - LPG事業の成長を支える事業基盤を強化します。



広域供給体制

ACTION 4

事業領域の拡大

総合エネルギー事業とエネルギー関連分野を中心に、事業の領域を拡大し、東邦ガスグループのさらなる成長を実現します。

(1) 総合エネルギー事業の展開

- ガス・熱・電気の一括供給に、エネルギーまわりのソリューション提案を加えた「総合エネルギー事業」を推進します。
- エネルギー供給メニューの拡充に向けて、電力分野の取り組みを強化します。

(2) 上流事業の拡大

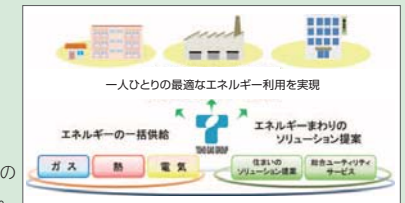
- LNG調達の安定性・経済性に加えて新たな収益機会の獲得や将来の海外事業展開の足掛かりともなる上流事業の拡大に取り組みます。

(3) グループ事業の強化

- リフォームや総合ユーティリティサービス、エンジニアリングなどを担うグループ会社については、営業エリアおよび売上の拡大を図り、ガス事業との相乗効果を創出します。
- 検針・集金や定期保安点検、ガス工事などを担うグループ会社については、業務品質やお客さまサービスの向上、効率化の推進などにより、強いガス事業の構築をサポートします。

(4) スマートタウンの構築

- 環境面や防災面に優れたまちづくりを通じて地域の活性化に貢献するとともに、ビジネスチャンスの創出にもつながるスマートタウンの構築に取り組みます。
- 燃料電池自動車に水素を供給するためのインフラ整備を進めます。



総合エネルギー事業イメージ

ACTION 5

安全・安心の確保

防災や保安に対する取り組みを強化し、お客さまの安全・安心を確保します。

(1) 防災対策の推進

- ハード・ソフトの両面から、地震・津波・液状化などへの対策を推進します。
- 防災体制を強化します。

(2) 保安対策の推進

- 製造・供給設備の計画的なメンテナンス・更新や、ガス機器の安全対策を推進します。

成長を支える経営基盤の強化

1. 成長サイクルの実現

経営効率化の推進

・経営効率化に努め、2018年度の固定費を、2013年度並みの水準に抑制します。

成長分野への重点投資

・ガス事業の広域展開や事業領域の拡大へ重点的に投資し、収益基盤を拡大します。

2. 人材力・現場力の強化

人材力の強化

・時代の変化を先取りして果敢にチャレンジする人材を採用し育成します。

3. 技術力の強化

技術開発の推進

・多様化するお客さまのニーズに的確に 대응していくための技術開発を推進します。

4. CSR経営の徹底

- ・お客さまや地域社会、株主・投資家の皆さまなどステークホルダーから信頼され、好感度の高い企業グループを目指します。
- ・コーポレートガバナンスの向上、内部統制やリスク管理の強化、協力会社も含めたコンプライアンスの徹底に努めます。
- ・環境先進企業として、お客さま先や地域の環境負荷低減に寄与するとともに、次世代へのエネルギー・環境教育をはじめとする諸活動を通じて地域社会に貢献します。

営業キャッシュフローの拡大

・今後5か年で2,600億円以上の営業キャッシュフローを創出します。

株主還元

・安定配当を基本とする中で、自己株式の取得を機動的に実施します。

現場力の強化

・ガス事業の基盤業務を、効率的かつ確実に遂行する力を高めます。



現場力強化 (技能選手権)

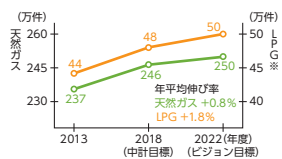
エンジニアリング力の強化

・ガスの製造・供給設備やお客さま設備などの建設、保守管理を通じて、東邦ガスグループのエンジニアリング力を強化します。

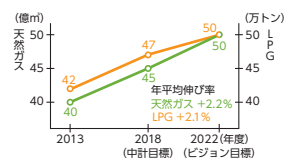
東邦ガスグループビジョンの実現に道筋をつける

経営目標

■ お客さま数



■ 販売量



	前回中計平均 (2009~2013年度)	中計目標 (2018年度)	ビジョン目標 (2022年度)
営業キャッシュフロー	490億円	580億円	600億円
D/Eレシオ	0.7	1.0以下	1.0以下
ROA	2.1%	3%程度	3%以上

※ お客さま数 (LPG) には、配送受託件数を含む

中期経営計画の具体的な取り組み

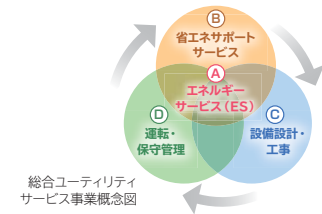
住まいの省エネ診断

当社は、お客さまの快適な暮らしの実現に向けて、住まいの省エネ診断に取り組みます。光熱費シミュレーションにもとづく改善提案や、省エネ行動アドバイスを行う診断ソフトを開発し、診断を通じて、お客さまのご要望にきめ細かく応えてまいります。



総合ユーティリティサービス事業

都市ガス、LPGに続く将来の新たな事業の柱として、「総合ユーティリティサービス事業」を2013年7月から本格的に開始しました。省エネ診断、ガス設備や周辺設備の設計・工事から運転・保守管理までワンストップでお客さまに提供します。



A エネルギーサービス (ES)

東邦ガスグループが機器調達および設置を行い、運転や保守管理、エネルギー管理を一括して提供するサービスです。お客さまは契約期間中、エネルギーサービス (ES) 料金をご負担いただくのみで、初期投資や突発的な修理費用の発生を抑制することができます。さらに高効率機器や最適なエネルギーシステムの導入により、エネルギーコストの最小化を実現します。

エネルギーサービスのお客さまのメリット

- 初期投資不要
- エネルギーサービス費の平準化
- 故障による突発的な保守費用の抑制
- 最新効率機器により省エネ・省コスト
- 定期的なエネルギーの使用状況報告と運用アドバイス

C 設備設計・工事

コージェネレーションシステム・ボイラ・空調から照明・太陽光パネルに至るまでのユーティリティ設備全般を施工します。省エネサポートサービスの結果を基にした省エネ改修工事も行います。



B 省エネサポートサービス

エネルギー使用量の把握、計測およびデータ分析を行うことで、エネルギーの使用状況を「見える化」します。また、得られた結果を基に運用改善に向けたサポートを行います。



ユニー (株) アピタさまでの省エネ調査

D 運転・保守管理

コージェネレーションシステムをはじめとした熱源機器の運転やメンテナンス、建物・ユーティリティ設備の一括保守管理を行います。定期メンテナンスのほか、運用監視や不具合時の対応も実施します。また、中長期的なメンテナンス計画の作成・支援や運用コスト低減へのサポートも行います。



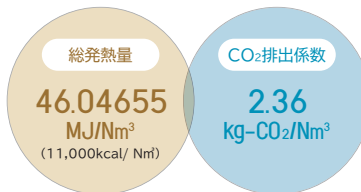


事業活動と環境負荷

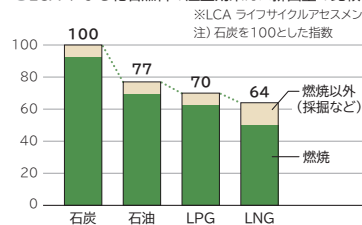
東邦ガスグループは、環境性に優れた天然ガスの普及により、お客さま先におけるCO₂排出量の抑制に貢献しています。天然ガスをはじめとするエネルギーの輸入から、都市ガスなどをお届けするお客さま先まで、事業活動により生じる環境への影響を把握し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

海外から輸入されたLNG（液化天然ガス）は都市ガス工場で気化・熱量を調整した後、ガス導管を通してお客さまに届けられます。都市の中心部では、地域冷暖房により、熱や蒸気の供給を行っています。関係会社では、LPG（液化石油ガス）事業やエンジニアリング事業などを行っています。当社グループの事業活動に伴う、CO₂や廃棄物などの2013年度の環境負荷は右のとおりです。

●都市ガスの性状

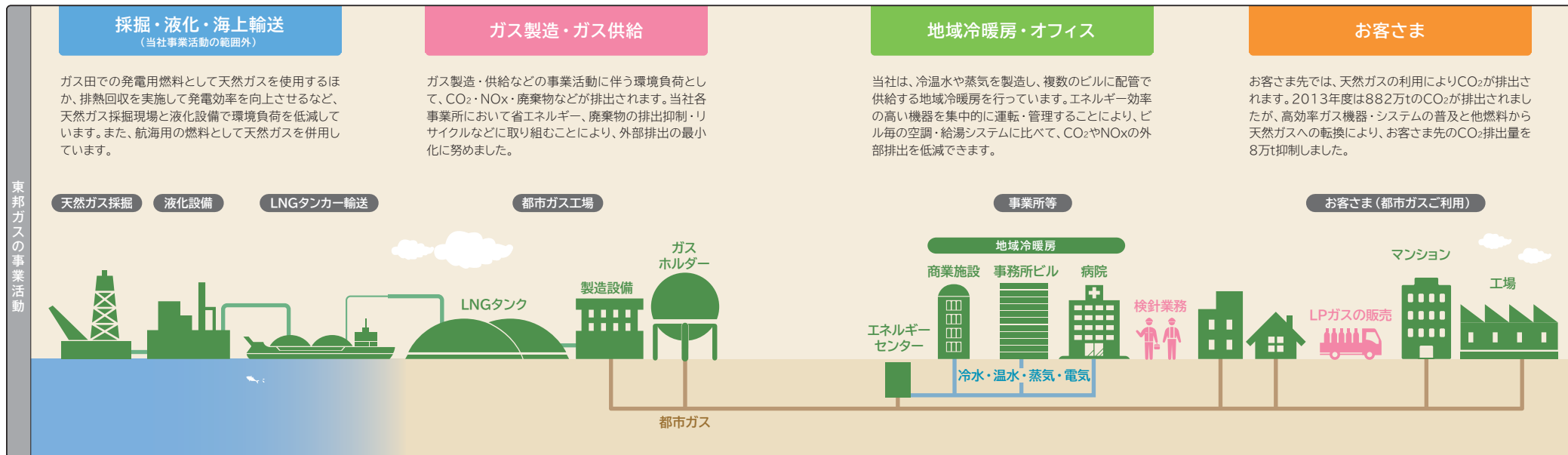


●LCA[※]による化石燃料の温室効果ガス排出量の比較



出典: 「LNGおよび都市ガス13Aのライフサイクル温室効果ガス排出量の将来予測」/エネルギー・資源第28巻第2号、(2007.3)をもとに算出(総発熱量基準)

2013年度事業活動における環境フローチャート^{※1}



環境負荷	資源・エネルギー投入量 東邦ガス ●都市ガス原料 ●原料LNG …… 297万 t ●原料LPG …… 22万 t 関係会社 ●都市ガス原料 ^{※4} ●原料LNG …… 5万3千 t ●LPガス原料 ●原料LPG …… 22万 t	資源・エネルギー^{※2} 東邦ガス ●購入電力 …… 1億2,567万 kWh ●都市ガス使用量 …… 1,411万 m ³ ●車両用燃料 (原油換算) …… 740 kℓ 関係会社 ●購入電力 …… 2,082万 kWh ●都市ガス使用量 …… 85万3千 m ³ ●車両用燃料 (原油換算) …… 1,848 kℓ	エネルギー販売量 東邦ガス ●都市ガス販売量 ^{※3} …… 36億2千万 m ³ ●他ガス事業者へのガス販売量 …… 2億9千万 m ³ ●熱販売量 …… 38万6千 GJ 関係会社 ●都市ガス販売量 …… 7千万 m ³ ●LPガス販売量 ^{※3} …… 22万 t	
	外部への排出量 東邦ガス ●大気への排出 ^{※5} (当社事業活動の範囲外) ●温室効果ガス (CO ₂ 換算) ●採掘時 …… 13万t-CO ₂ ●液化時 …… 124万t-CO ₂ ●海上輸送 …… 26万t-CO ₂	大気・水域への排出 東邦ガス ●CO ₂ 排出量 …… 11万2千 t-CO ₂ ●COD排出量 …… 0.3t ●NOx排出量 …… 26t 関係会社 ●CO ₂ 排出量 …… 2万 t-CO ₂	外部排出^{※6} ●産業廃棄物 …… 59t ●掘削土 …… 15万t ●一般廃棄物 …… 88t 外部排出^{※8} ●産業廃棄物 …… 455t	大気への排出 東邦ガス ●都市ガス供給 ^{※7} ●CO ₂ 排出量 …… 882万 t-CO ₂ ●CO ₂ 抑制量 …… 8万 t-CO ₂ 関係会社 ●大気への排出 ●LPガス供給 ●CO ₂ 排出量 …… 65万 t-CO ₂
	※1 当社と全関係会社を対象 ※2 都市ガス使用量は都市ガス原料を含む。鋳鉄管・鋼管はガス工事会社分 (ポリエチレン管・土砂塗装材は当社分も含む) ※3 他ガス事業者、LPガス事業者への販売量を除く ※4 別途一部購入ガスあり	※5 当社および関係会社の原料LNG分について「LNGおよび都市ガス13Aのライフサイクル温室効果ガス排出量の将来予測」/エネルギー・資源第28巻第2号、(2007.3)をもとに算出 (総発熱量基準) ※6 掘削土は当社管内のガス導管工事に伴う外部排出量 ※7 当社単体による排出量 ※8 関係会社の一般廃棄物については未集計		

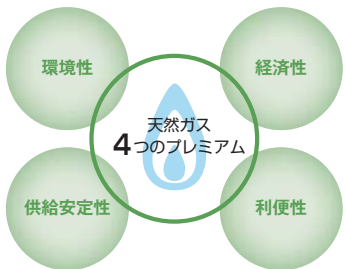


天然ガスの特性

環境性に優れ、埋蔵量が豊富で供給安定性の高い天然ガスを高効率・高度利用することが期待されています。

天然ガスの優れた特性

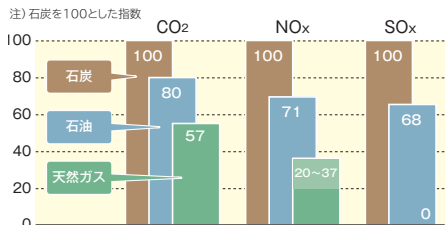
天然ガスは、環境性・供給安定性・経済性・利便性に優れたエネルギーです。お客さまに天然ガスの持つ優れたポテンシャルを余すことなく、最大限効率的にご利用いただけるよう取り組んでいます。



■環境性

天然ガスは、化石燃料の中で燃焼時のCO₂発生量が、石炭・石油と比較してそれぞれ43%・29%少ない上、光化学スモッグの原因となるNO_xの排出も少なく、大気汚染や酸性雨などの原因となるSO_xは発生しない、環境性に優れたエネルギーです。

化石燃料の燃焼生成物の発生量比較



出典：CO₂は火力発電所大気影響評価技術実証調査報告書（1990.3）
／（財）エネルギー総合工学研究所
NO_x、SO_xは「Natural Gas Prospects」（1986）／IEA

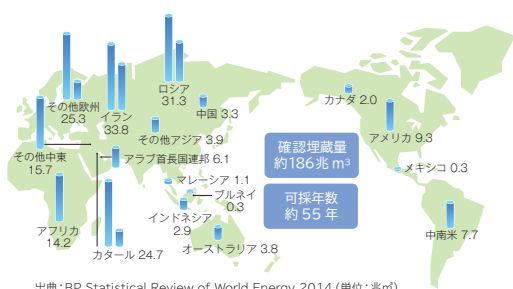
■供給安定性

天然ガスは、世界に広く豊富に存在し、LNGタンカーでオーストラリア・マレーシア・カタール・ロシアなど様々な国から日本へ運ばれて来ます。最近では採掘技術の向上により、従来では採掘困難であった大深度の天然ガス資源や、非在来型天然ガス資源^{※1}が産出可能となり、安定した供給が見込まれています。

さらに、日本の近海には、日本の約100年分の消費量に相当するメタンハイドレート^{※2}が存在しており、政府主導で商業利用を目指す開発計画が進められています。

※1 非在来型天然ガス資源 コールベッドメタン、シェールガス、タイトサンドガスなど
※2 メタンハイドレート メタンガスと水が低温・高圧の状態では結晶化した氷状の物質

天然ガス確認埋蔵量

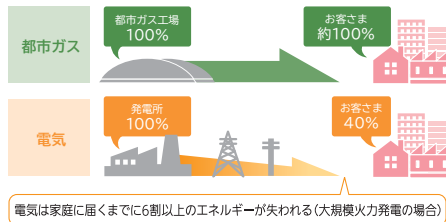


出典：BP Statistical Review of World Energy 2014 (単位：兆m³)

■経済性

天然ガスは、都市ガス工場からガス導管を通じてお客さまに届けられます。都市ガス工場におけるエネルギー製造効率はほぼ100%である上、ガス導管による都市ガス輸送時もエネルギーロスがほとんどなく、経済効率性の高いエネルギーです。

都市ガス輸送時のエネルギー効率

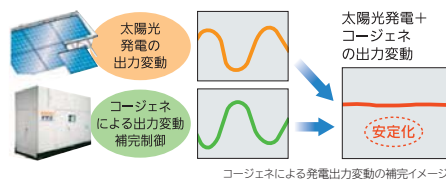


■利便性

天然ガスは、都市ガスとして家庭用から業務用まで幅広い分野で利用されています。快適な生活、都市や産業の発展を支えるエネルギーとして、厨房・給湯はもちろんのこと、ガスコージェネレーションシステム、ガス空調、燃料電池、自動車など様々な用途で利用されています。

加えて、天然ガスは太陽光エネルギー、バイオガスなどとバستمックス利用が可能となり、再生可能エネルギーの導入促進にも役立つ利便性に優れたエネルギーです。

再生可能エネルギーとの親和性



環境行動指針・ガイドライン・目標

環境調和型社会の実現に向けて、グループ全体の環境行動指針・環境行動ガイドラインに基づき東邦ガスグループ共通および各社毎の環境行動目標を定め、環境活動に取り組んでいます。

■環境行動指針

環境行動指針（2011年3月改定）は、基本方針と指針から構成され、指針は「お客さま」「事業活動」「環境貢献」「環境技術開発」の4つにまとめています。

環境行動指針	基本方針	
	指針	指針

基本方針	東邦ガスは、グループ各社とともに、地域および地球規模での環境保全の重要性を深く認識し、クリーンなエネルギーの供給を柱として、企業活動のあらゆる場面を通じて、環境調和型社会の実現に貢献します。
指針1	お客さま先における環境負荷低減に貢献します。
指針2	事業活動における環境負荷を低減します。
指針3	地域・国際社会と協働し、環境貢献を推進します。
指針4	環境に関する技術開発を推進します。

■環境行動ガイドライン

環境行動ガイドライン（2011年3月制定）は、東邦ガスグループが取り組む重要な環境活動に対する考え方や方向性を示しています。このガイドラインに基づき、当社と関係会社が個別の環境行動目標を設定し、環境活動に取り組んでいます。

分野	環境行動指針	参照項
地球温暖化対策	<ul style="list-style-type: none"> 環境性に優れた天然ガスをはじめとするクリーンエネルギーの普及拡大と高効率・高度利用、さらには再生可能エネルギーの活用を通して、お客さま先におけるCO₂排出を抑制し、効果的かつ現実的な地球温暖化対策を推進する。 業務の継続的改善により、自社事業活動におけるCO₂排出の低減に努める。 	P.14
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動の各段階において資源の有効活用を図るとともに、廃棄物の発生抑制・再利用・リサイクルにより外部排出量の最小化に努める。 	P.20
生物多様性保全	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性について、その重要性を認識し、事業活動における影響の把握・分析に努め、生物多様性に配慮した活動を推進する。 	P.23
環境社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> 地域・国際社会と協働した環境活動・プロジェクトへの参画や次世代層への啓発活動などを通して、環境に関する社会貢献活動を行う。 	P.24
環境技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ガス体エネルギーの高効率・高度利用、再生可能エネルギーの活用など、環境負荷低減に資する技術開発を推進する。 	P.26
環境マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 環境影響を認識し、環境マネジメントを徹底するとともに、環境に配慮し自ら行動する人材を育成する。 	P.28

■環境行動目標の達成状況

これまでの環境行動目標は、2013年度が最終年度であり、各目標の達成状況を下表にまとめました。6つの数値目標のうち、5つの目標は達成できましたが、ガス工事における非開削工法適用率については、工期の制約や工事延長によっては経済合理性がなく、適用できる工事の比率が低く未達となりました。

分野	環境行動目標(2011~2013年度)	2013年度実績	達成状況
地球温暖化対策	①都市ガス事業CO ₂ 排出原単位(ガス販売量あたり) ▲5%	▲17.0%	○
	②熱供給事業CO ₂ 排出原単位(熱・電気販売量あたり) 2009年度水準維持	▲6.2%	○
資源循環	①都市ガス工場におけるゼロエミッションの維持	ゼロエミッション維持	○
	②ガス工事における非開削工法適用率向上	10%	×
 新設工事20%	49%	
 入替工事50%		
	③ガス導管工事から発生するアスコン(アスファルト・コンクリート)塊 使用済みポリエチレン管の100%リサイクル	100%	○
	④オフィスにおける紙ごみ100%リサイクル	100%	○

注) 購入電力のCO₂排出係数は2009年度を基準とする。2009年度実績 ①16.5g-CO₂/Nm³ ②85.2kg-CO₂/GJ ③新設工事8%、入替工事33% ④100% ⑤100%